

2011 年度(平成 23 年度)の温室効果ガス排出量について

1 温室効果ガス排出量の変化

区分	基準年度 (1990年度) 排出量	2010年度 排出量	2011年度 排出量		基準年度からの増減率		前年度からの増減率	
				(%)	区分内		区分内	
エネルギー 起源 CO ₂	産業	42,898	38,548	40,616	53.9%	-5.3%	5.4%	6.8%
	民生(家庭)	7,315	8,629	9,886	13.1%	35.1%	14.6%	
	民生(業務)	8,387	9,374	11,336	15.0%	35.2%	20.9%	
	運輸	11,041	11,270	11,111	14.8%	0.6%	-1.4%	
	エネルギー転換	1,481	2,401	2,376	3.2%	60.5%	-1.0%	
	小計	71,124	70,222	75,325	100.0%	5.9%	7.3%	
非エネルギー起源CO ₂ ,CH ₄ ,N ₂ O	3,224	3,837	3,942	4.9%	0.9%	0.1%		
代替フロン等3ガス	2,664	1,145	1,293	1.6%	-1.8%	0.2%		
合計	77,012	75,204	80,560		4.6%	7.1%		

排出量単位：千トン-CO₂

2 温室効果ガス排出量の増加要因

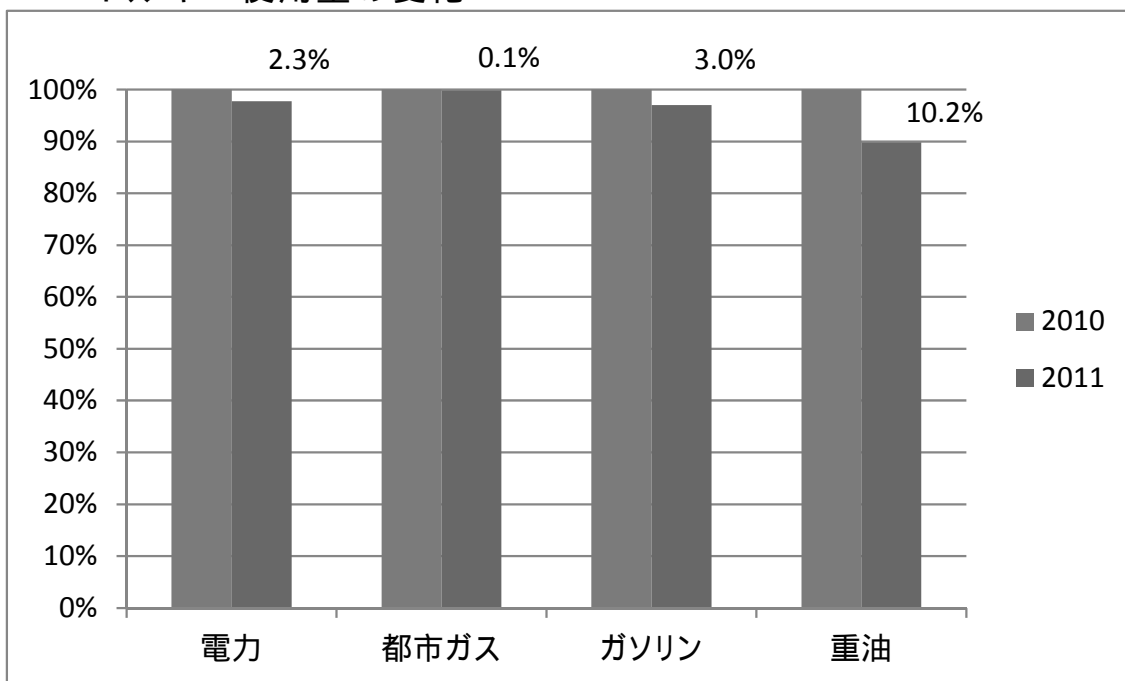
2011 年度(平成 23 年度)は、県民・事業者の省エネの取組が進み、県内の電力・都市ガス・ガソリン・重油の全てのエネルギー使用量は減少した。

しかしながら、温室効果ガス排出量は、基準年度(1990 年度)と比べると 4.6%の増加、前年度(2010 年度)と比べると、7.1%の増加となった。

エネルギー使用量は減少したものの、前年度と比較して温室効果ガス排出量が増加した主な要因は、東日本大震災の影響により、原子力発電所の稼働が停止し、火力発電における化石燃料消費量が増加したことや、中部電力(株)のCO₂クレジットの購入量が減少したことによって、電力量あたりのCO₂排出量が増加したことによるものであった。

(参考)

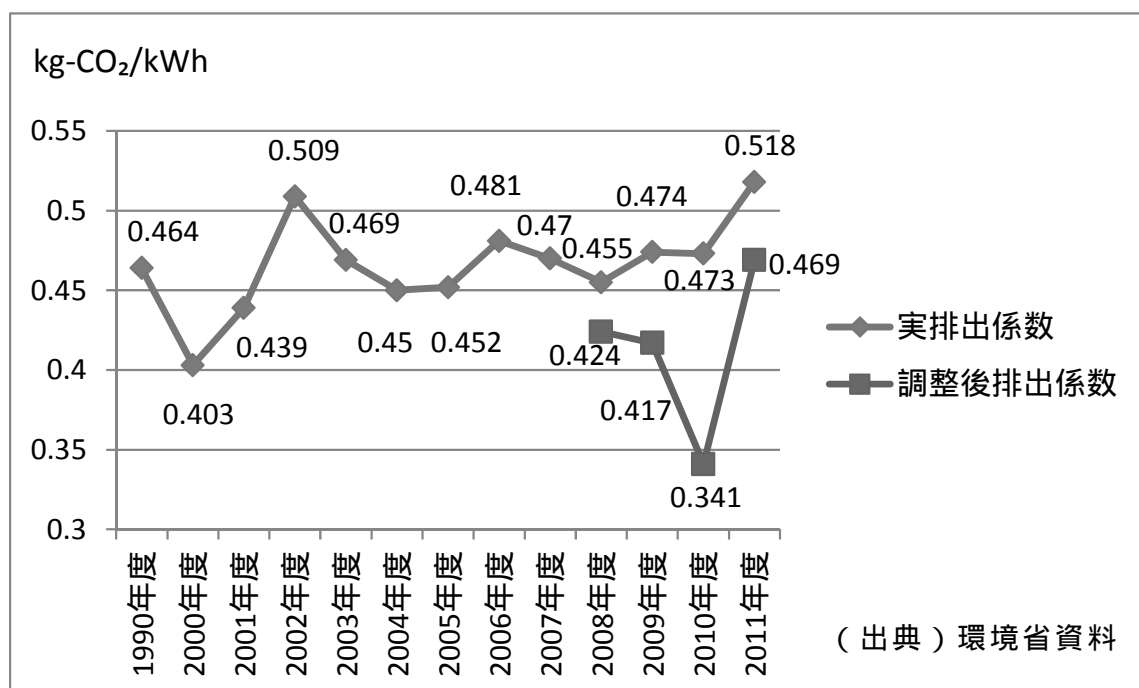
1 エネルギー使用量の変化



2010 年度		2011 年度	
電力	60,341,676 千 kWh	58,974,102 千 kWh	(1,367,574 千 kWh 減)
都市ガス	137,694,413 千 MJ	137,527,411 千 MJ	(167,002 千 MJ 減)
ガソリン	3,799,412 kl	3,686,484 kl	(112,928 kl 減)
重油	1,354,159 kl	1,216,435 kl	(137,724 kl 減)

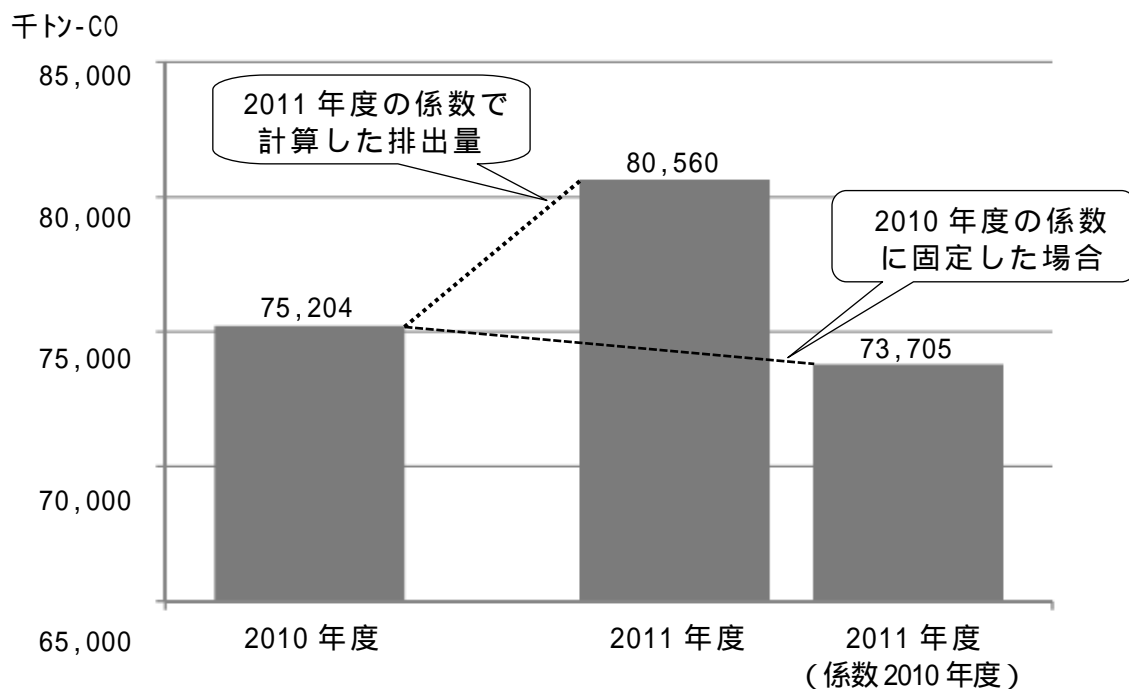
(出典) 愛知県統計年鑑

2 中部電力(株)の電力量あたりのCO₂ 排出係数の推移



(出典) 環境省資料

3 CO 排出係数を前年度の係数に固定した場合と固定しない場合の温室効果ガス排出量の比較



4 前年度からの部門別のCO 排出量の増減状況

